

春 夏 秋 冬 No.80

東京都ダンススポーツ連盟広報誌

第7回 東京都ジュニアダンススポーツ競技大会

2月2日(日) 立川市柴崎市民体育館

ジュニア育成部副部長
綾野 和子



東京都ジュニアダンススポーツ競技大会は、毎回どんな新人が現れるかと期待が膨らむコンペのひとつです。

特にサルサやメレンゲ種目は、難しいステップ等はなく服装規定もないことから踏歴の浅い子ども達の登竜門となっているようです。

満面の笑みでハツラツとリズムに乗る子ども達の姿は、観ている方まで体が揺れ出してしまいます。

ダンスにとって何より大切な「楽しんでリズムを刻む」と言うダンスのルーツがこの競技会には有るような気が致します。

昨年のダンスコレクションを発端に連盟をあげてシルバの普及に努めることとなりましたが、競技のダンスのみならず楽しむ為のペアダンス復活が、年代を越え今後のキーポイントとなってきているのではないかと、この大会を通じて思いました。

ジュニアスタンダード・ラテン優勝
柴木 毅門・井上 乃天



今回の大会は初めて燕尾服で出た試合でした。ジュニアの試合はとてもレベルの高い試合になりました。でも先生や親が大丈夫、習ったことをやれば必ず優勝できると言ってくれたので、とても励まされました。前にほかの大会でまけてしまった相手だったので絶対に勝とうという気持ちで臨んだところ、勝つことができました。そのことで、気持ちの持ち方次第で結果は変わるのだなと思いました。

その気持ちでラテンも挑んでいきました。そしてラテンでも以前負けてしまっていた人がいたので、スタンダードの気持ちを忘れることなくやったことで自分達が優勝することができました。

次はもっと大きな大会でも優勝できるように、誰にも負けないように練習していきたいです。ありがとうございました。



第58回 東京都民ダンススポーツ大会

2月2日(日) 立川市柴崎市民体育館

実行委員長
稲田 義四千

例年のことながら大会が近づくと天気予報が大変気になります。雨天か、雪が降るようなことのないように。当日は朝方曇り、後晴れ間で気温も15度の予報、実際も穏やかな日となりほっとしました。

午前中のジュニア大会、午後開会式に続いて一般の試合、A級戦からD級戦、選手権シニアⅡ、Ⅲに約400組の選手が出場。熱戦の結果「都議会議長杯」「市長杯」は写真の組が勝ちました。

大会は午後八時を過ぎて終了。選手・役員、また応援の観客の皆さん、大変お疲れ様でした。

都議会議長杯 A級戦スタンダード優勝
小嶋 みなと・盛田 めぐみ (神奈川県)



私達は今回の試合で優勝することができ、とても嬉しく思っております。この試合が今年初の試合とあって緊張しましたが、会場も良い雰囲気、周りの多くの方々の応援もあり、伸び伸びと楽しく踊ることが出来ました。

今後も質の良い、見てて楽しんで頂けるような踊りが出来るよう日々進化させ続けていこうと思いますので、試合で見かけましたら応援よろしくお願いします!



都議会議長杯 A級戦ラテン優勝
村瀬 賢一・小笹 詩織 (埼玉県)



今回、都民大会に初エントリーで、優勝出来た事を大変嬉しく思います!当日は予想より競技開始が遅かったため、待ち時間を上手くリラックスできた事が優勝という結果につながったと思います。

私達はまだまだアマチュアの競技歴は長くはありませんが、これからもより正確な動きが出来るダンサーを目指していきます!どこかで私達を見かけたら、応援して頂けると嬉しいです。



市長杯 C級スタンダード優勝
高梨 道宏・三木 由美 (神奈川DSC)



初めて立川市に来ましたが、盛大で歴史あるこの大会で思いもかけず市長杯を頂きましたことを大変光栄なことだと喜んでおります。これも全て素晴らしいコーチと良きパートナーのおかげだと感謝しております。立派なカップを頂いたことを励みに今後も努力していきたいと思っております。

また、大会関係者の方々にも重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



市長杯 C級ラテン優勝
柴木 毅門・井上 乃天 (神奈川県)



今回の大会は初めてのC級戦でした。上手い大人の人達の中で優勝したことがとてもうれしかったです。ダンスをする上で体力・気力・精神力をして思いやりが改めて大切だなと感じました。

初出場で初優勝できたことがとてもうれしいです。これからも一生懸命二人で練習したいなと思います。



第6回 ダンススポーツフェスティバル in東京オープン

WDSF シニアII世界選手権日本代表選考

3月8日(土)
東京体育館

実行委員長 今泉 清隆

「第16回東京オープン」の前日3月8日(土)、6級戦からB級戦までと全日本選手権シニアIIにスタンダード323組、ラテン187組のエントリーがあり、東京体育館にて熱戦がひろげられ、大盛況に開催出来ました。

この大会は翌日の東京オープンのリハーサルを行う都合上、毎回の事ですが、17時30分までに終了させなければならず、更に今回はワールドオープンユースの予選会を行いましたので競技進行が大変でした。

参加選手の皆様!持てる力を充分発揮することができたでしょうか?

近年、ダンススポーツは趣味から競技スポーツの分野まで、また生涯スポーツと言われるほど、多くの人々に親しまれてきており、本大会の開催もダンススポーツの素晴らしさを多くの人にアピールできるよい機会になりました。

皆様に大会が無事終了した事を心より感謝申し上げます。

全日本選手権シニアIIスタンダード優勝

谷口 主嘉・小夜子 (京都DSC)

この競技会は私達にとって最も重要な競技会となっています。全日本ということで昔からの友人が多くこの競技会に参加し、私達にとっては、あかも同窓会のような楽しい競技会です。

そしてシニアIIとはいっても出場者・入賞者はほぼシニアIIIの年代です。働き盛り、子育ての時期を過ぎ、若いころの趣味を再び楽しんでい

るメンバーが中心となっています。年齢を重ねるにつれ身体が固くなり反射神経も鈍くなってくるのは仕方のない事ですが、勝つ踊りではなく、自分で納得のいく踊り・シニアらしい音楽性の豊かな踊りを心がけていきたいと思っています。

全日本選手権シニアIIラテン優勝

吉田 武将・田中 悦子 (青森県DSC)

地方からの参加ではありましたが、多くの方々からのアドバイスや応援をいただき、ダンススポーツ競技会を通じて知り合った皆様とも目標を共有して、踊り抜くことができました。ありがとうございました。

昨年は、日本代表としてイタリア・サルソマッジョーレにて開催されたWDSFシニアII世界選手権に出場し、世界のレベルの高さを体感した貴重な経験も、ステップ・アップにつながったと思います。

今後も、「心・技・体」のすべてにおいてスキルアップできるように、練習や研鑽に励みたいと考えております。



第6回 全日本学生競技ダンス連盟

3月23日(日)
新宿コズミックセンター

OB/OGダンススポーツ競技会



大会実行委員長
川口 義一 (慶應義塾大学OB)

第6回全日本学生競技ダンス連盟OB/OGダンススポーツ競技会が東京都ダンススポーツ連盟と共催で、3月23日に新宿コズミックセンターにて開催されました。

当日は最高齢78歳から今年度大学卒部の若手まで延約900カップルの参加があり、盛況裡に終了する事が出来ました。団体は東京大学、オープンスタンダードは藤森組 (東京大学)、オープンラテンは玉井組 (青山学院大学) がそれぞれ優勝しました。

この大会は、回を重ねる毎に若手の参加が増えてきており、ダンス界の高齢化になんとか歯止めをかける一助になればと思います。終わりに、当日多くのご協力を戴いた東京都ダンススポーツ連盟の皆様へ厚く御礼申し上げます。

学連OB/OG戦オープンスタンダード優勝

藤森 祐樹・美奈 (東京大学)



団体優勝 東京大学



学連OB/OG戦オープンラテン優勝

玉井 征爾・岩澤 桃子 (青山学院大学)



東京大学OB 星井 拓也

2013年度は浦環前学連会長の退任パーティーが東京大学運動会競技ダンス部の現役学生・OBOG会一丸となって開催された節目の年であった。さらに喜ばしいことに、現役学生たちが夏冬の全日本戦で連続優勝したことなどの成果を讃えられ、競技ダンス部が東京大学総長賞という名誉ある賞をいただいた。この流れを活かすべく、東大ダンス部OBOG会をあげて第6回大会への参加を促し、団体戦勝利に向けた布陣を整えられたことがこのような素晴らしい結果につながったと確信している。

東京大学として出場していただいた選手や、応援していただいたすべての方に感謝したい。



港区

港区ダンススポーツ連盟に所属するサークルは僅かにひとつです。サークルの名前は港ダンススポーツクラブでクラブの鈴木浩生会長が連盟の会長を兼ねています。

クラブの会員数は現在55名(内33名が登録選手)で港区の連盟員は45名(同25名) 残りの10名(同8名)は他の区市から連盟に加入しています。年齢別の会員構成(登録選手)は20-50歳代:25%(36%)、60歳台:50%(68%)、70歳代:25%(6%)、平均年齢:63.5歳(59.9歳)となっています。

活動内容は毎週土曜日にJR新橋駅烏森口近くの生涯学習センター体育館にてプロの講師をお願いして一ヶ月交代でスタンダード、ラテンを2種目ずつ練習し年間を通して十種目を習得する活動を実施しています。

競技会、ダンス旅行会などを楽しむ他に毎年4月の初旬ごろにサークル活動の成果を披露する発表会を兼ねたダンスパーティーを開催しています。クラブのメンバーは一組ずつ1分半程度のミニデモを踊ります。このミニデモを行うこともクラブ員の励みの一つです。

パーティー前の2ヶ月間は会員各自の個人指導を中心に練習を行っておりますが、特にこの期間は各自練習に熱が入るようです。また女性の中にはドレスを新調する方もおり気の入り方も一人です。パーティーの運営は大変ですが会員一同役割を分担し、終わった後の達成感はミニデモの成否に関わらず格別なようです。

当連盟は会員数が少なく競技会の開催からも長い間遠ざかっていますが会員数の維持を図り、これからも「ダンスは楽しい」をモットーに活動を続けていきたいと思っています。



港区ダンススポーツ連盟
派遣理事 近藤 明



あきる野市

あきる野市ダンススポーツ連盟が満26歳を迎えられたことは、ダンススポーツ愛好家皆様のご支援によるものと心より感謝申し上げます。

連盟発足の「母体」となったのは「同好会」でした。初心者講習会を開催する度にサークルを発足させ、昭和57年には月曜クラス、58年は土曜クラス、金曜クラスと続き、同好会発足時のサークルは水曜クラスとして今も活動しています。

行事も増え、チャリティーダンスパーティーを毎年開催し福祉に寄与してきました。昭和63年「社交ダンス研究会」が発足し、同時に「秋川社交ダンス連盟」が発足しました。連盟の発足に伴い同好会の行事であった「初心者講習会」「チャリティーダンスパーティー」を引き継ぎ、「競技会の開催」「新春ダンスパーティー開催」を加え現在連盟の主行事となっています。

年号が平成と改められ、連盟にとっては記念すべきダンススポーツ元年となります。文化団体連盟に別れを告げ「秋川体育協会」に加盟できたこと、次に同好会に金曜クラスが発足し、これまで指導者はアマチュ

アでしたが、プロによる指導がスタートしました。現在は全てプロの指導です。平成7年には「東京多摩西ブロック大会」を開催、「あきる野市総合スポーツ祭」にも参加、市長杯を主幹、等と発展してきました。

振り返るとあまり触れたくはない事ですが連盟会員の減少です。平成14年をピークに減少に向かい、現在ピーク時に対し100名ほど減少し連盟の行事にも影響が出てきました。何とかしなければ!!頑張ります。



あきる野市ダンススポーツ連盟
会長 築地原 輝夫



新春ダンスパーティー



実行委員長 秋山 幹男 1月5日(日) 新宿コズミックセンター
東京都ダンススポーツ連盟主催第1回ニューイヤーダンスパーティーが、新宿区コズミックセンターで1月5日12時～18時の長時間、一流バンド奥田英人&ザ・スカイブルーオーケストラの生演奏に乗り、盛大に開催されました。

さらに今回のパーティーは、トーナメント形式による賞金争奪ダンスバトル競技、D1グランプリ大会も同時開催され、プロ・アマ混合、ジュニア・ジュブナイル等による自由参加の勝ち抜き戦が展開されました。プロの玉置朝哲先生の司会で進行し、賞金は上位順に、下位のカップルには豪華賞品が配られました。その他抽選会・ミキシング等賑やかなパーティーでした。

今回の開催に際し、ダンスタイム社をはじめ多くの協賛会社のご支援、ご協力を頂き、主宰者として大変感謝しております。東京都会員の方々、特に理事の方には運営委員としてまた、チケットの販売等大活躍して頂き有難うございました。

ニューイヤーパーティーは、JDSF主催で、ダンススポーツ普及活動の行事として平成20年1月11日に第1回が開催され、平成24年1月8日の第5回を最後に幕を閉じましたが、1年間の空白を経て再び東京都ダンススポーツ連盟が開催する事になりました。毎年このパーティーが開催され、日本一の大ダンスパーティーになるよう今後ともご協力をお願いいたします。



くじ一等賞を送る山田専務理事



D-1グランプリ スタンダード入賞者



D-1グランプリ ラテン入賞者

ミキサーからびとこと

立川市ダンススポーツ連盟 関 博

皆さん、ダンススポーツ大会を応援する側で入場する方々は、勿論お目当ての選手の背番に声を枯らすでしょう。

しかし、さらに音楽にも耳を傾けながら応援をすれば、より一層熱が入ること請け合いです。

もう語りつくされているでしょうが、特にラテン曲はリズムを合わせるのがスタンダード曲より難しい曲が多いですから、自分が競技に参加していない時からも、曲を聞いてリズムを外さないように心がけると良いと思います。



写真は右から、立川市ダンススポーツ連盟 関 博さん、新海 素子さん、新井 律子さん

かがやいてますね

町田 貞治・和枝(世田谷区)

6年前、区の講習会に参加した事がきっかけでサークルに入りました。10ダンスの意味もわからないまま、先生や先輩達の華麗なステップを見ては「右足後ろ」等とメモしながらフロアをウロウロ。

4年前、主人が「競技会に出てみたいんだけど、どう?」と言い出し、スタンダード3級に挑戦! 1点足りず1次落ち、、、でもそこからスイッチが入り、どんどんはまって今日に至ります。

今まで見放さずにご指導下さっているサークルの先生ご夫妻には、本当に心から感謝しております。



JDSF 東京掲示板

平成26年

5/17 ㊦ 13:00～14:50

平成25年度総会

会場:新宿コズミックセンター

6/8 ㊦

第67回都民体育大会春季大会

第59回東京都民ダンススポーツ大会

会場:駒沢体育館

7/27 ㊦

第47回東京都市町村総合体育大会

会場:狛江市民総合体育館

9/7 ㊦

平成26年度都民生涯スポーツ大会

会場:駒沢体育館

10/11 ㊦

ダンススポーツフェスティバルin東京2014

会場:東京体育館

10/12 ㊦

第34回三笠宮杯全日本ダンス

スポーツ選手権大会

会場:東京体育館

発行 平成26年4月1日

発行人 今泉 清隆(理事長)

編集長 鈴木 勝彦(広報部長)

企画 広報部

発行所 東京都ダンススポーツ連盟

住所 〒161-0031

東京都新宿区西落合1-28-14 榊原ビル1F

TEL 03(6908)3412 FAX 03(6908)3420

<http://www.jdsf.or.jp/tokyo/>

(春夏秋冬掲載中)